

健康で **すくすく**

パフォーム Ca

成分:カルシウム (CaO)として10.5%含有

カルシウム補給剤

500~1,000倍で使用

薬液が植物に付きやすい



慣行区



パフォームCa 500倍 加用

カルシウムが植物に浸透しやすい

大豆 (カルシウム欠乏条件下での葉面散布による生育回復能)



無散布 パフォームCa 400倍



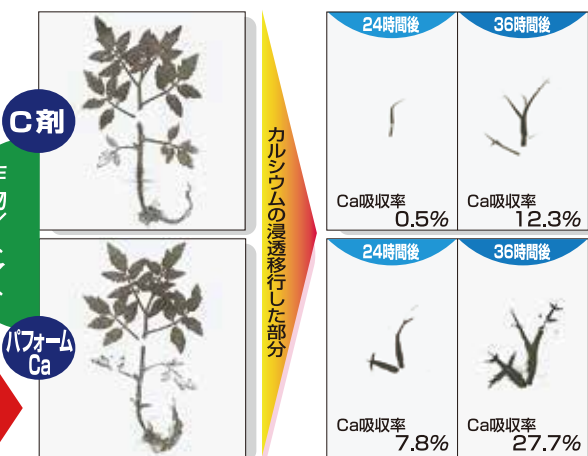
無散布 A剤 300倍



無散布 B剤 400倍

カルシウムの浸透移行性試験

カルシウムを葉柄基部に接種し、時間の経過による浸透移行の程度をアイソトープで測定した。



パフォームCa
は速やかに
浸透移行



さらに

液体なので調製がしやすい
お手ごろ価格で使いやすい



丸和バイオケミカル株式会社

農薬混用凝集試験

パフォーム希釈倍率：200倍にて使用。農薬は実用倍率で使用。
 混用順序：水-乳剤-水和剤-パフォームCa

●：良好 ▲：粒子大/凝集傾向 ×：凝集

殺菌剤	単独	アグロシリン水和剤	アデイオン乳剤	アブロード水和剤	サンマイトFL	ジプロ乳剤	ジメトエート乳剤	スミチオン乳剤	モレスタン水和剤	ロデー乳剤	DVP乳剤	ゲッター水和剤	コサイドボルドー水和剤	サブロール乳剤	スミレックス水和剤	ダコニール1000FL	トップジンM水和剤	トリフミン水和剤	ベンレート水和剤	ポリオキシシアル水和剤	ユーバレン水和剤	ロブラール水和剤
単独	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オーソサイド水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
コサイドボルドー水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
サブロール乳剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ジマンダイセン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
スミレックス水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダイファー水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダコニール1000FL	●	●	▲*1	●	●	●	●	▲*1	●	▲*1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トップジンM水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
トリフミン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ベンレート水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ポリオキシシアル水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
モレスタン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ユーバレン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ルビゲン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ロニラン水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ロブラール水和剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

*1:混用直後から数時間は凝集なく再分散したが、1昼夜放置すると沈殿物の再分散が悪く若干凝集傾向有り。

適用作用と使用方法

作物名	使用目的	使用期間	使用方法と濃度
小豆・大豆	増収・品質向上	開花前から開花始期2~3回	散布又は灌水 500~1,000倍
ネギ・タマネギ ハクサイ・レタス キャベツ	芯腐れ・芯枯れ・縁腐れ・葉先枯れ防止	本葉展開後から7~10日間隔	
トマト・ピーマン	尻ぐされ防止・株の健全化	育苗中および果実肥大時に 各段ごと	
イチゴ・ナス	果実の軟化防止・チップバーン防止		
キク	葉先枯れ・葉やけの防止	本葉展開後から7~10日間隔	
かんきつ	浮皮軽減	果実肥大期後半 (10日間隔で3回以上)	
	緑化促進	春芽発芽後7~10日間隔で2回、 落弁期から7~10日間隔で2回	
ナシ	ミツ症防止	開花10日後から10日間隔で4~6回	

上記以外の各作物についてもカルシウム欠乏による生理障害の防止及び生育促進に効果があります。

使用上の注意

- 高温時は日中の散布は避けてください。
- スルフェン酸系、ジチアノン系、キノキサリン系、トリアジン系、ストロビリン系、アニリド系薬剤には薬害を生ずる恐れがあるので混用はさけてください。
- TPN フロアブルに下記の農薬を混用した場合、パフォームCaを加工しないでください。凝集する傾向があります。
【ベルメトリン水和剤・MEP乳剤・フェンプロパトリン乳剤】
- 炭酸水素カリウム剤及び、炭酸水素ナトリウム剤との混用はさけてください(汚れ)。

- アルカリ性農薬や石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 液肥との混用はできるだけさけてください。液肥の種類により凝集する場合があります。
- 硝酸態窒素又は硝酸態カルシウムで薬害が懸念される作物には使用しないでください。
- 作業後は手足など皮ふの露出部を石けんでよく洗ってください。
- 誤飲などのないよう注意してください。

包装：500ml×20
5ℓ×4

お求めは・・・

■販売



丸和バイオケミカル株式会社

- 本社 / 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
TEL03-5296-2314
- 札幌 / TEL011-222-1285 ■仙台 / TEL022-261-1103
- 名古屋 / TEL052-951-7234 ■大阪 / TEL06-6484-6850
- 福岡 / TEL092-714-7101 <https://www.mbc-g.co.jp>

お問い合わせ窓口 / TEL 03-5962-9731 (9時~17時 土日祝を除く)

■製造

花王株式会社 KAO